

**製品名: PP32R1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16402**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	26kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ANP32C
別名	ANP32C; PP32R1; Acidic leucine-rich nuclear phosphoprotein 32 family member C; Phosphoprotein 32-related protein 1; Tumorigenic protein pp32r1
遺伝子 ID	23520.0
SwissProt ID	O43423
免疫原	抗血清はヒト ANP32C 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

**背景**

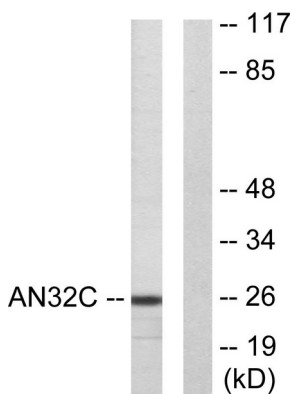
リン酸化タンパク質 32 (PP32) は、前立腺がんや乳がんなど、いくつかの種類のがんを抑制する腫瘍抑制因子です。この遺伝子に

よってコードされるタンパク質は、PP32とアミノ酸配列が類似し、同じ酸性核リン酸化タンパク質遺伝子ファミリーに属する少なくとも2つのタンパク質のうちの一つです。しかし、PP32とは異なり、コードされるタンパク質は腫瘍形成性です。PP32の腫瘍抑制機能は、PP32とこの遺伝子によってコードされるタンパク質とは異なる25アミノ酸領域に局在しています。この遺伝子にはイントロンは含まれません。[RefSeq提供、2008年7月]、注意：His-140多型は不明です。この多型は前立腺細胞株で発見されていますが、対応する正常組織サンプルは存在しません。この変異体を導入した細胞は、天然細胞と比較して少なくとも2倍のタンパク質を発現した。類似性：ANP32ファミリーに属する。類似性：4つのLRR（ロイシンリッチ）リピートを含む。組織特異性：動員CD34陽性細胞や臍帯血CD34陽性細胞などの活性化幹細胞で発現するが、休止期骨髄CD34陽性細胞では発現しない。様々な腫瘍性細胞株、主に前立腺腺癌細胞株で発現する。正常前立腺組織では発現しない。

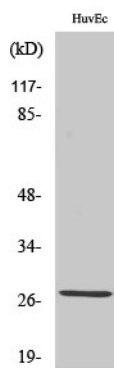
## 研究分野

がん; 腫瘍タンパク質/抑制因子; 腫瘍タンパク質

## 画像データ



ANP32C抗体を用いたHUVEC細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PP32R1ポリクローナル抗体を1:1000に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。